学校番号	1101

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　世界史Ａ」　（帝国書院）						
副教材等	「明解世界史図説　エスカリエ」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現在のわれわれの生活も、歴史という時間軸の中に存在していることを理解する。
・歴史的事象の発生および影響について、「なぜ」という視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本と世界の在り方を考える。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代世界の諸課題を、近現代史を中心とする世界の歴史と結び付け、歴史的観点から考察することができる。
・日本で生活する者として、世界の歴史を世界各地の地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本で生活する者として、近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート 〔主題学習〕 課題研究	定期考査 小テスト等 〔主題学習〕 レポート	定期考査 小テスト等 〔主題学習〕 レポート	定期考査 小テスト等 〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	1部	1. 東アジア・南アジア・東南アジアの諸文明 2. 西アジア・北アフリカの文明 3. ヨーロッパの文明	○ ○	○	○	○	a: 古代の諸文明の特色に関心をもつ。 b: 諸文明の広がりと特色を考え，文章にまとめる。 c: 地図や絵図などの資料を適切に活用している。 d: 古代の宗教，文字や技術などが周辺地域や後世に影響を与えたことを理解している。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		4. 繁栄するアジア 5. 大航海時代と新たな国家の形成 6. ヨーロッパとアメリカの諸革命	○	○	○ ○	○	a: 16～18 世紀のヨーロッパの主権国家の形成とアジアの諸地域の歴史的展開を理解する。 b: 世界商業の展開とヨーロッパ諸国の王権強化、西欧とアメリカでの革命の成果を考え文章にまとめる。 c: ヨーロッパの人々の世界進出について地図を活用している。 d: ヨーロッパ諸国が世界に進出しつつ国際関係をつくりあげたことを理解している。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		7. 自由主義・ナショナリズムの進展 8. アジア諸国の動揺 9. 東アジアの大変動	○		○ ○		a: ヨーロッパでの自由主義・ナショナリズムの運動やアジア各地の多様な民族運動について関心を持つ。 b: 第一次世界大戦の特色を考える。 c: 帝国主義および第一次世界大戦期の地図、図版など資料を適切に活用している。 d: 第一次世界大戦の影響の大きさを知り、二度目の大戦を防げなかった時代背景を理解する。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
後期	2部	1. 第一次世界大戦のもたらしたもの 2. 民族自決を求めて 3. 経済危機から第二次世界大戦へ	○	○		○		
		4. 冷たい戦争の時代 5. 冷戦終結への道のり 6. 地球社会への歩み 7. 持続可能な社会をめざして	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 「冷戦」の時代背景に関心を持つ。 b: 大戦後の諸民族の自立が冷戦構造を変えて行ったことに気づく。 c: 第二次世界大戦後の世界を示す写真、図版などを利用する。 d: 第二次世界大戦の惨禍、影響について理解している。戦後に冷戦が構造化されたことや、冷戦終結後の現代の世界の課題を理解する。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査

※ 表中の観点について

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。